

実践記録

| | | |
|-------------------------------------|---|---|
| 学校/学年 | 小学校 / 5 年 | |
| 教科等：単元名 | 学級活動：「著作権について」 | |
| キーワード | 著作権の利用 | |
| 情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標 | 分類 | 情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築 |
| | 大目標項目数字 大目標項目内容 | b 3：情報に関する自分や他者の権利を尊重する。 |
| | 中目標項目番号 中目標項目内容 | b 3 - 1：情報にも自他の権利があることを知り、尊重する。 |
| 授業会場 | パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕 | |
| 学習の目標 | 著作権という法律を知り、なんでもコピーできるとは限らないことを判断できる | |
| 使用教材 | 教材名 | 事例で学ぶNetモラル |
| | 製作者 | 広島県教科用図書販売株式会社 |
| | 入手先(URL 等) | 長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶNetモラル」 |

展開案

| | 学習活動 | 指導 評価 |
|-------------|------------------------------|---|
| 導 入 | 映像シーンを見て、キーシーン での「みな」の行動を考える | デジタルデータは容易にコピーできることから、「思わず」コピーしてしまったことを押さえる |
| 展 開 | キーシーン との違いを考える。 著作権について知る | 個人で楽しむだけか、他の人に勝手に使われないように定められた権利であることを押さえる |
| お わ り | 本時のまとめと振り返り | 他の人が作ったものを使う場合、許可を取ってから使うことを知ったか。 |

授業の成果

- ・5年生になるとアイドル等に興味関心を抱き、ネット等を使って「簡単に」という気持ちも芽生えてしまうことから、ルール等を学んだことは今後につながると思われる。また、親とも相談していきたいという感想も聞け、親子との話し合いの大切さなど情報から離れ、基本的なことも学べた。

指導のポイント・留意点

- ・「所有する人」がいることを押さえ、決して自分のものではないことを押さえる。